

# Rotary Club of AMA



2014-2015年度  
国際ロータリーテーマ

## LIGHT UP ROTARY



2014~2015年度 RI 会長  
ゲイリー C.K. ホアン

第2760地区ガバナー

近藤 雄亮

会長 栗木 和夫

副会長 篠田 正志

幹事 白井 幹裕

例会日 毎週月曜

例会場 名鉄グランドホテル

事務所 〒453-0015

名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル

TEL (052) 451-6617

FAX (052) 451-6710

区域 愛知県・海部郡内3町村と2市

会報 田邊 正紀 大西 晃弘 神田 康史

柏子見 昌敏 大竹 和美 山田 幸治

## 2015年5月11日(晴れ) 第1週 第2109回例会

Song "君が代・奉仕の理想"

Guest 米山奨学生 グエン シン コン君

### Attendance

会員	79名	欠席	8名	出席率	88.24%
----	-----	----	----	-----	--------

President Time 栗木和夫 会長



皆さん、こんにちは。ゴールデンウィークは初夏を思わせるような気持ちの良い天気が続きましたね！ゆったりした休日を過ごされたと思います。昨日伊勢神宮専用の神田で、神前に供える米の苗を植える「御田植初」が行われました。白い着物に烏帽子や菅笠を身に着けた保存会の人々20名が、古式ゆかしく苗を植えました。水田の周りでは笛や太鼓で田楽が奏でられ、苗が植え終わると男性二人が水田に入り大きな二つのうちわを合わせてその場で三回まわったり、うちわを振って虫を追い払う動作をしたりして、豊作を祈りました。米は今年9月に収穫され、神嘗祭（かんなめさい）などの祭典の神饌として、酒やもち用の原料として使われます。さて私も農家の長男として生まれ父の死後、

農業を引き継ぐに当たり現況を調べました。耕作面積は80aほどで、日本の農家1戸当たり販売目的で稲を作付けている平均農家です。農業所得を従とする兼業農家で60%の農家がこれに当たります。1年間の収量は約3.5トンで販売金額は約70万円です。これは平成25年度のコメで昨年は53万円にしかならず過去最大級の下げ幅です。必要経費(種もみの購入、培養土、有機・化学肥料、除草剤、田植え機、コンバイン等専用機の減価償却費、用悪水路負担金、固定資産税)は毎年65万円になり、採算割れを起こし、米を作れば作るほど赤字という事態になっています。したがって、休耕田とし補助金をもらったほうが得になる現状です。なぜこのようにコメ価格が暴落し農家が窮地に至ったのでしょうか。その原因の一つは、コメの消費は、ピークだった1962年には一人当たり年間約118キロでしたが、現在は60キロを割っています。今後、高齢化が進み、外食産業ではご飯の盛り付けを減らし始めているそうです。生産調整、飼料用米、海外への輸出等の対策をとっていますが解決に至っていません。皆さん！今以上においしいご飯をたくさん食べてください。

Today 5月18日(第2110回)

担当 田中正博 クラブ奉仕委員長

演題 クラブフォーラム

「心に残るロータリー体験を語ろう」

クラブ奉仕委員会

Next Week 5月25日(第2111回)

担当 武藤正俊 プログラム委員長

演題 会員卓話

中島英之君、谷川浩司君

1 第6回次期準備理事会のご案内

日時 5月18日(月) 18:00

場所 「花梨」グランコート名古屋 29F



米山奨学生 グエン シン コン君

ニコボックス

ご投函有り難うございます

栗木和夫 会長

夜間友愛例会では、会場委員会の皆さんにお世話になり、有り難うございました。

ナガイ、長いゴールデンウィーク、皆さんいかがお過ごしでしたか？

鈴木與左衛門君

黒川君、先日は「蟹江フルコース」のご指導、恐れ入ります。「元海」にて美酒美食を堪能し、ほろ酔い心地でメガネーゼに入店。高価サングラス購入後「若菜」に入店。お漬け物を物色、たっぷり購入したのち、にっこり笑顔で待ち受けるは「穂香」のオーナー。北島君のマッサージに身も心も癒され、市内脱出・無罪放免！無事帰路につきました。恐るべし！蟹江関所発信の連係プレイ！お世話をおかけしましたフルコースの皆様、有り難うございました。

地区研修・協議会ご参加の皆様、お疲れ様でした。

中村普一君

こんにちは。ご迷惑おかけしてます。

大竹敬一君

地区研修・協議会にご出席の皆さん、お疲れ様でした。

東海広光君

米山奨学生のコン君、ようこそあまRCへ。

後藤袈裟美君、先日は有り難うございました。

地区研修・協議会に出席の皆さん、お疲れ様でした。

1年間よろしくお願いいたします。

西川君、高山君、大竹敬一君、有り難うございました。

山田幸治君

久しぶりの例会です。

稲垣秀樹君

久しぶりの例会です。間が開くと、勘が狂ってしまいます。GWも終わり、そろそろ本調子です。

GWは思いっきり家族サービスに振り回されました。

ディズニーランド、東山動物園、フラフラです。おばあちゃんだけ留守番でごめんなさい。

北野庸夫君

地区研修・協議会に参加しました。岡部パストガバナーの、ロータリーが「緩んでいる」の話を納得！

山田尊久君、退院おめでとう。

山田幹夫君

4月からの米山奨学生、グエン シン コン君を紹介します。2年間よろしくお願い致します。

山田尊久君

加藤徹君、蟹江町観光協会会長ご就任おめでとうございます。5月16日(土)の蟹江川鶴飼いが楽しみです。

後藤雅光君

5月10日地区研修・協議会、第3分科会に出席しました。

今西邦弘君

昨日、2015~2016年度の地区研修・協議会に参加させていただきました。有り難うございました。

岩島裕芳君

ニコボックスの皆様、ご苦労様でございます。

児玉憲之君

2015~2016年度のための地区研修・協議会に出席の皆様、お疲れ様でした。各分科会の発表の皆様、よろしくお願い致します。

水野 眞君

高齢に拘わらず、良いことがありました。立松君、よろしく。

水谷安紀君

ニコボックスの皆様、ご苦労様でございます。

大西晃弘君

申し訳ありませんが、本日は仕事の都合で途中退席いたします。昨日の地区研修・協議会の報告は、板津君に代読いただきます。板津君、よろしく願いいたします。

田中正博君

ニコボックスの皆様、ご苦労様でございます。

立松絹久君

ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

横井久雄君

ニコボックスカウンターを素通りしたところ、会場内まで集金にいられたので…。

5月誕生日をお迎えの方々より

**合計 54,000円**



## 地区研修・協議会報告

### 第1分科会 今西邦弘君

2015年5月10日（日）ウェスティンナゴヤキャッスルにて約1,600名の参加で開催されました。先ずもって、参加させていただきお礼申し上げます。私は、会場へ行くまでどのような研修なのかまったく分からない状況で参加をさせて頂きました。

前回、2月22日（日）に開催された地区大会同様な規模で改めてロータリーの組織の大きさに圧倒されたのが第一印象です。地区研修会・協議会の内容としては、次期ガバナの初心表明であり地区方針の発表でした。内容は、下記の通りです。

RI会長 K.R.ラビンドラン

2015-2016年度 国際ロータリーテーマ

Be a gift to the world ～世界へのプレゼントになろう～

※世界にプレゼントをあげる人になろうではなく、与えることによって人間の価値がある

加藤陽一ガバナエレクト

#### ★地区方針★

ロータリーの原点に学ぶ ～友情と寛容の輪を拓けよう～

#### ★地区行動指針★

・高潔なロータリアンを目指し、常にバッジを着用する

・例会に積極的に出席し、ロータリー活動を楽しむ

・自主的クラブの運営

・会員増強・退会防止

・地区の改善・改革

第一分科会テーマ：ロータリーの原点に学ぶ

・リーダー挨拶（加藤陽一ガバナエレクト）

・アドバイザー挨拶（岡部快圓パストガバナー、江崎柳節パストガバナー、千田毅パストガバナー、服部良男ガバナーノミニー）

私はロータリーの原点を余り理解してませんが印象に残ったことを記載します。

1. 「ロータリアンとしてバッジを着け、プライドを持って欲しい」という言葉が印象的でした。
2. 一業種一社で始まった会員が今は変化した。しかし、ロータリアンは業界のリーダーになり業界を牽引しなくてはならない。
3. 奉仕でゴミを捨てるのではなく、ゴミを捨てない人を育てることが大切である。

地区予定

10月24日～25日 WFFワールドフード（栄にて）

25日ジャパン・ロータリー・ディ

10月31日～11月1日 地区大会（岡崎東RC）ウェスティンナゴヤキャッスル

5月28日～6月1日 世界大会（韓国ソウル）5月29日ガバナーナイト（ヒルトンホテル）400名ぐらいの参加を希望する。

4月24日 2016-17年度のための地区研修・協議会（岡崎城南RC）ウェスティンナゴヤキャッスル

### 第2分科会 山本輝幸君

代読 伊藤正征君

本日は本会議および第2分科会に参加致しました。今回は少し早目に資料も頂きましたので事前に国際ロータリー会長ラビンドランさんのテーマ『世界へのプレゼントになろう』についての記載。ロータリーというものがロータリアンに何をすべきか、何が出来るのか？を教え実践に導いてくれる。すなわち自分たちの持っている才能や能力を熱意や献身によって何かを与え人や世界を変えていけるはず…『人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る』非常に宗教的ではあるが、なんとなく納得したい気持ちにもなり国際協議会の会長挨拶にも目を通して本会議に備えた。

近藤ガバナーの挨拶の中でネパールへの支援についてロータリーでもさらに深めた支援を訴えられ、東北震災の

各国からの支援、また特に台湾からの早い観光の再開など思い出され、出来るところが気持ちを込めた支援を出来る限りしていくという事を聞き大変心強く感じるところでありました。千田パストガバナーや加藤ガバナーエレクトの話でも震災地区の高校生支援の細かな対応と気配りを感じた。今行っている高校生支援では高専など3年の支援ばかりでなくそれ以上の年数が必要な場合もあり、そのフォローは現地地区の対応もしっかりして頂けたことなど実際に現地と一緒に支援してきた方でないといけない事であったと思う。

さて、加藤ガバナーエレクトの話として、

地区方針は『ロータリーの原点に学ぶ』

～友情と寛容の輪を拡げよう～

地区行動指針は

- ◆高潔なロータリアンを目指し、常にバッチを着用する
- ◆例会に積極的に出席し、ロータリー活動を楽しむ
- ◆自主的クラブ運営
- ◆会員増強・退会防止
- ◆地区改善・改革

地区方針については、ロータリーの原点については本人もどこを原点とするかは微妙なところであるが、最近のロータリー「ロータリアンはもっとプライドを持ってほしい」、「サービスを基調とする行動をとってほしい」という発言もあり、当日バッチを付け忘れた私には非常に心に突き刺さる言葉であった。

原点については今私にはよくわからないが、それぞれの立場で活躍される皆さんを見れば大きな問題を感じていないのが現状。ある面では温故知新というか発足からどう進化してきたか、今後良い遺伝子を見つけて強い一面だけを押し通していくのではなく、上手く変わっていく事が大事であろう感じました。それと大事な点はロータリーは出席が原点でもある。(これも今日欠席でごめんなさい)

第二分科会に参加して

クラブ奉仕について

- ・名古屋市には13クラブがあり、いわゆる大企業病になりつつある。誰かがやってくれる。設立時からみて一人一人のマンパワー不足かも

会員増強

- ・規定審議会では入会規定も徐々に見直されつつあり1業種から5業種案も可決？
- ・女性会員、主婦など多くの多様性が認められつつある中でただ基準を緩和するのではなく新しい目で輪を広げ奉仕のチャンネルを拡げれば確かに進化するのでは…？

分科会として皆さんに行ってほしい事

- ◆声をかけお誘いし、やめそうな人には仲間である意識を持たせる
- ◆ロータリアンになれそうな人を根気よく探す
- ◆ロータリーについてももっともっと学ぶ(楽しさ・出来ることの共有)
- ◆楽しいクラブ

※ロータリーは親睦と奉仕(順位は親睦が前でよい)

結論：現在会員数においては下げ止まり状況(5000名を目指す)

- ・名古屋RCのように2世会員の検討
- ・7月17日会員増強セミナーへの参加

### 第3分科会 後藤雅光君

・広報について

今までロータリーとしてはあまりPR活動してこなかったですが、今後はワールド・フード+ふれ愛フェスタ等を行い広報活動し、会員増強につなげることができれば良いと考えます。今回のフェスタでは28名のガバナーが出席されました。内容が大変地域に密着しており他の地区からも非常に好評でした。チケット販売枚数7,700枚、協賛企業123社と内容が充実しておりました。

・雑誌について

「ガバナー月信」および「ロータリーの友」を読んで頂くと活動内容がほぼ理解できると思います。「ガバナー月信」および「ロータリーの友」も自分でお金を支払っていないので読む必要性が薄れてきているかと思っています。これを読むことによってロータリー活動の原点が分かると思いますので、ぜひお読み下さい。

・IT委員長会議について

2018年度の10年間発表に向けて資料集め、写真、原稿を保存しています。現在、アクセスしてもらうことによって見ることができます。時間があればアクセスしてみてください。

### 第4分科会 加藤春視君

代読 児玉憲之君

次期地区社会奉仕委員長、当クラブ鈴木與左衛門君から社会奉仕について解りやすいお話を頂戴しました。まずは、手続き要覧より社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に住む人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るも

のである。

活動報告については、IT委員会より報告がありますが、電子化が進み例年より早く報告ができています。確認をしましたところ当クラブからは、紅谷社会奉仕委員長からの報告で、栗木会長から弥富市の海南病院の山本院長へ、小児病棟にある子供向けの図書コーナー「かいなんこどもぶんこ」に絵本などの書籍購入費用として、30万円を贈り、院長からは、子どもたちに喜んでもらえるでしょうと感謝の言葉を頂戴しました。とありました。また次年度は、防災（安全・災害）について重点課題となっており活動のため卓話の依頼を検討下さい。とありました。続いて、財団副委員長より補助金について、申請の方法について、補助金ガイドブックが各クラブに提供されているので活用して下さい。記録写真には、日付を入れて撮影して下さい。

IT委員会よりは、資料の電子化が行われています。社会奉仕委員会の活動報告が2760地区H、P内の「2760文庫」+「地区資料アーカイブ」地区資料に2014-2015年度 社会奉仕委員会活動 現況調査報告書（環境保全・RCC）その他報告書が掲載されています。ご確認ください。

<http://www.rotary2760.org/2760bunko/rid2760files/>

環境保全委員会よりは、「あいち生物多様性戦略2020～愛知目標の達成に向けて～」

2010年の生物多様性条約締約国会議（COP10）で採択された愛知目標の達成に向けた新たな行動計画である「あいち生物多様性戦略2020」及びその推進ツールとして「自然環境の保全と再生のガイドライン」について、卓話の依頼ができるので活用して下さい。

RCC（Rotary Community Corps）ロータリー地域社会共同隊委員会よりは、ロータリアン以外の人々がロータリーの価値観を共有し、奉仕活動に尽力するグループです。奉仕活動のパートナーです。当地区でもRCCの活動が活発になっています。と教えて戴きました。

最後になりますが、このように地区研修・協議会にてロータリーについて学ばせていただける機会を頂戴しましたことに感謝を申し上げますとともに、4大奉仕の中でも最も重要な委員会の一つととらえ、環境保全委員会の吉田委員長、地域社会委員会の前田委員長はじめ、東海会長、皆さんにご協力を戴きながら勉強をして進めていきますのでよろしくお願い致します。

#### 第5分科会 大竹敬一君

加藤令吉次期地区副幹事の司会で始まり、杉浦次期地区

国際奉仕委員長、斉藤バストガバナー（RI理事ノミニー）のご挨拶と会は進行した。斉藤バストガバナーの、「ロータリー入会当初は、ロータリーの活動に疑問を感じ、あまりロータリーに出なかった」というお話は、印象的であった。その後、再び杉浦委員長より「ロータリーの国際奉仕とは」という基本的なお話があり、堀江同副委員長からは、「ポリオ撲滅」後のRIの最重要テーマになるであろう「識字率向上」について、鈴木同副委員長からは、カンボジア、ベトナム、ラオスなどで行ってきた地区国際奉仕委員会の支援事業についてのご説明があった。その後、例年質問が集中するという、地区補助金、グローバル補助金についてのご説明が、中村次期地区ロータリー財団副委員長から詳しくあり、近藤次期ガバナー補佐の講評で、分科会は修了となった。

#### 第6分科会 山田尊久君

2015～2016年度地区研修協議会に出席しました。地区方針「ロータリーの原点に学ぶ」の基本方針のもとに各委員の発表がありました。私は、第6分科会に出席しました。

寺本善雄青少年奉仕委員長より今年度の活動方針が話されました。テーマは「青少年ファミリーのさらなる交流と認知度向上」です。インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換という4つのプログラムは「青少年の健全育成」を目指すロータリーの重要なプログラムです。4つの委員会の相互交流を図るため青少年サミット、WFFへの参加等さらに具体的に取り組みたい。

各委員からの発表があり、インターアクト委員会奥田清仁委員長から現状と方針の説明。2760地区では昨年津島東高校にインターアクトクラブが発足し、16のインターアクトクラブが募金活動、障害児や高齢者の支援活動、地域の清掃活動をしている。地区内のクラブ同士の交流やインターネットによる情報の共有化により会員数の増加、新しい取り組みがみられる。

ローターアクト委員会西本一幸委員長より現状と活動方針の説明。ローターアクトの目的は青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだによりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにある。9つのローターアクトがありますが会員数が減少傾向にある。

地区RYLA委員会竹内幹尚委員長より現状と活動方針の説明。ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）は、14～30歳の若者を対象のスキルと人格を養いながら奉仕、高い道徳的規準、平和といったロータリーの価値観

を学ぶ機会を提供することを目的としている。RYLAセミナーは28年3月26～27日開催予定。

地区青少年交換委員会岡田雅隆委員長より現状と活動方針の説明。青少年を海外に派遣する制度であります。1年間の海外との交換留学であります。申し込みは中学3年から高校2年まで、志願申し込みは7/24まで、8/1に選考テストと面接、申し込み用紙は事務局まで。

危機管理委員会黒田勝基委員長より説明  
すべてのロータリーの奉仕活動においてあらゆる場面で危機管理の必要性があります。

分科会に参加して、4つの委員会それぞれ活動内容に歴史があり、新しい状況に対応しながら変化してきている印象を受けました。これからのあまの青少年奉仕委員会の活動を考えていくうえで、私にとりまして大きな刺激をいただいた地区研修協議会となりました。

**第7分科会 大西晃弘君**  
**代読 板津和博君**

私の参加した第7分科会はロータリー財団関連部門に関するものでした。お恥ずかしい話、会員歴が短く、また不勉強な私には、ロータリー財団の活動や仕組みについての知識は全くと言ってよいほどありませんでした。そのような中での今回の分科会参加そして本日の報告ですので、至らぬ点も多いかと思いますが、何卒ご容赦いただきますようお願いいたします。

ロータリー財団委員会は大きく分けて6つの小委員会に分かれています。各委員会からの報告の前に、次期財団委員長が次年度のテーマ「期待されるロータリー財団の使命」に沿ったお話をされました。その中で財団の役割は、「会員の皆さんに寄付を促し、その大切なお金をクラブや地区、世界できちんと使うお手伝いをする」と説明をされました。その後、「ポリオプラス委員会」、「奨学基金・学友・平和フェロシップ委員会」、「資金推進委員会」、「補助金委員会」、「職業研修チーム委員会」、「資金管理委員会」の順で次期委員長からの報告がありました。時間の都合もありますので、その中で3点ほどご報告いたします。

まず、次年度の寄付目標についてですが、年次基金は一人当たり150USドル、恒久基金（ベネファクター）は各クラブ1名以上、メジャードナー（大口寄付者）は地区で5名以上、ロータリーカード…これは利用額の一部が自動的に財団に寄付されるクレジットカードですが、利用者0クラブを無くし地区保有者10%とする。以上が報告されました。

次に今回の分科会でかなり積極的に推進されていたのが、

ウェブサイトMy rotary（マイロータリー）への各クラブ、個人の登録です。これはメンバー個人の活動履歴や各クラブの活動、各地区の活動、そして各国のロータリー活動などの情報がウェブサイト上で共有できるものですが、今後国際的な戦略として進めていくとのことでした。このMy rotaryについては11月のロータリー財団月間の際に、当クラブの渡辺次期ロータリー財団委員長よりお話がある予定です。

最後にポリオプラスについてです。ポリオプラス活動は2018年のポリオ撲滅宣言に向けてのラストスパートに入っていますが、不足している資金が約5億USドルあるとのことでした。ポリオ撲滅を絶対に実現するために会員の皆さんに是非ご協力をいただきたいとの強いお願いがありました。

**第8分科会 家田安啓君**  
**代読 児玉憲之君**

1. 地区協議会の第8-B分科会では、次年度のテーマとして、「クラブの職業奉仕委員会活動とは何をすればよいか」が掲げられました。このテーマは、地区方針である「ロータリーの原点に学ぶ」に通ずるものであり、職業奉仕委員会としての活動を見直すためのテーマ設定であるとのことでした。

2. 地区の次期職業奉仕委員長からは、社会奉仕や国際奉仕が目に見えるものであるのに対し、職業奉仕もまた「目に見えるもの」を目指したいとのことでした。

3. 既に行われた各クラブに対するアンケートの結果によると、職場例会が最も多く、卓話がそれに次ぐものでした。なかには、会員の企業でインタビューを行ない、その風景を撮影して、DVDとして例会で職業紹介しているクラブがあり、興味深いものでした。当会でも実施を検討してみたいと思いました。

4. なお、職業奉仕月間が、従来の10月から1月に変更され、職業奉仕委員会の委員長会議も9月14日と来年3月18日に開催されるとのことでした。

5. 村井総一郎氏が著した『超入門 職業奉仕の入口』が配布されました。とても参考になりますので、紹介しておきます。

例 会 変 更		
例会日	クラブ名	場 所
5/21 (木)	名古屋丸の内	クレストンホテル
5/22 (金)	名古屋北	名古屋東急ホテル
	名古屋みなと	マリOTTアソシア
5/25 (月)	名古屋昭和	名古屋東急ホテル